

● 広報

おぐに



未来に向かって

10月4日、おぐに保育園で行われた「モンテディオ山形ふれあいフィールド」。初めてサッカーボールに触る子も、一生懸命楽しそうにサッカーボールを追っていた。ミニゲームでは、カー杯ボールを蹴り込み、ゴールを狙った。

2018

11

No.769

アメリカ合衆国コロラド州を訪問

継続的な交流を目指して

町では、白い森ブランド戦略の取り組みの一環として、9月24日から29日までの6日間、山形県の姉妹県州であるアメリカ合衆国コロラド州を訪問し、同州デンバー市やゴールデン市において、本町のPRを行うとともに、今後の継続的な関係の構築や事業展開に向け、イースト高校やクアーズテック・グループ本社、昨年度本町を訪問したDBT柔道会などと交流を行ってきました。今月は、アメリカ合衆国コロラド州訪問の概要を紹介します。

コロラド州と小国町

コロラド州と本町との関わりとしては、平成17年から毎年、コロラド州デンバー市にあるイースト高校と小国高校による短期留学を通じた相互交流を実施しています。

また、昨年7月2日から5日までの4日間、コロラド州で最も歴史のある「DBT柔

道会」の師範や家族など約20人が来町し、小国柔道会や柔道スポーツ少年団、学校訪問を通してさまざまな交流事業が行われました。

さらに、コロラド州ゴールデン市には、クアーズテック・グループの本社があり、本町中核企業のクアーズテック(株)



▲クアーズテック・グループの本社
(コロラド州ゴールデン市)

小国事業所との関係が深いなど、コロラド州と本町でさまざまな交流やつながりがあります。

コロラド州の日本に対する関心は高く、州内の多くの大学で日本語及び日本関連講座を有し、一部の公立小中高等学校でも日本語教育が行われ



■コロラド州の地勢等

アメリカ合衆国の中西部。西側が米国西部山岳地帯、東側が大平原地帯。面積は26万9千km²（全米8番目（日本の総面積の7割））。州人口は545.7万人（2015年国勢調査推定）。コロラド州デンバー都市圏の主要経済は、農業・畜産業、工業・製造業、建設業、流通産業、ハイテク産業。また、観光産業にも力を入れ、経済の多様化を図る。雄大な自然に加え、「シリコン・マウンテン」と呼ばれるほどハイテク産業や研究開発活動が盛ん。近年は失業率も大変低い（2016年末3.0%）地域。



ゴールドデン市の街並み



デンバー市の街並み

これまでのさまざまな形のコロラド州とのつながりをきっかけに、PRによるインバウンド（訪日外国人旅行）の促進や今後の継続的な関係構築、新たなパートナーシップの締結を見据えた意見交換等を目的に、9月24日から29日までの6日間、仁科町長を団長とする13人がコロラド州を訪問しました。主な訪問先は次のとおりです。

町の訪問団が コロラドへ

ています。
また、日本との学術・文化交流も活発で、コロラド州と山形県の姉妹県州を始めとして、デンバー・高山姉妹都市交流など州内9都市と日本の都市との姉妹都市提携が結ばれており、学生等の人的交流も盛んに行われている地域です。

- ① コミュニティ・カレッジ・オブ・デンバー（CCD）
コミュニティ・カレッジとは、地域住民のために造られた公立2年制大学のことです。「望めば誰でも学べる」という方針を掲げ、学費が安く、入学難度が低いという特徴があります。
CCDは、デンバー市唯一の短期大学で、学生数はオンライン受講生を含めると約9000人。コロラド大学デンバー校とメトロポリタン州立大学デンバー校が同じ敷地内にあり、広大なキャンパスの中には共通の図書館やカフェなどの施設もあります。
CCDには、将来の青少年相互交流の可能性を調査・協議するために訪問し、キャンパス内を視察したほか、エヴァレット・J・フリーマン学長や芸術・人文センター長、異文化センター長に本町のPRと意見交換を行いました。
町のPRでは紹介動画を上



▲CCDで黒沢峠について紹介する
高橋泰弘さん

映したほか、団員の高橋泰弘さん（岩井沢）から黒沢峠に関して「小国町には越後と米沢を結ぶ街道が通っており、その内のひとつが黒沢峠である。イザベラ・バードが通ったことでも有名だが、イザベラ・バードはロッキー山脈についての著書もあって、州の殿堂入りもしており、さらにデンバー市にはイザベラ・バード・コミュニティ・スクールもある。黒沢峠は物流や交流のための道であり、牛や馬のための敷石が敷かれていた

が使われなくなり土に埋まっていた。地域住民が中心となつて復活させ、今では多くの人が訪れ、黒沢峠祭りなどのイベントも行われている。」といったプレゼンテーションを行いました。

出席者から、「日本には整然とした落ち着いたイメージを持っている。小国町にも訪問してみたい。今後の交流に向けたきっかけづくりとして、大変相応しいプレゼンであった。将来的に小国町の中高校生と交流できるよう、関係を深めていきたい。」といった意見をいただきました。

また、同席したデンバー市の担当者からは「デンバー市は日本と深いつながりがあり、高山市と姉妹都市を締結している。観光や学生の交流も多く、企業との経済的なつながりもある。」といった話もありました。

訪問団が帰国した後、10月16日には、異文化センター長

のクリスティーナ・アーヴァイン氏が本町を訪れ、町長や団員と再会し、今後の本町とCCDの交流の可能性について協議しました。

② イースト高校

毎年2月から3月にかけて小国高校生が短期留学をしているイースト高校に、これまでのお礼とともに、これからも継続した関係を構築していくため訪問しました。

同高校はデンバー市の公立高校で最も歴史のある学校です。生徒数は約2600人で、日本語のクラスもあります。

訪問時には、はじめに日本語の授業に参加し、イースト高校の生徒2、3人のグループに訪問団のメンバーが1人ずつ入り、平仮名の問題へのサポートや、日本語の便利なフレーズや折り紙の作り方を紹介しました。生徒たちは年齢も人種も様々でしたが、熱心に日本語を勉強していました。



▲小国高校を紹介する佐藤教諭

た。日本語の授業は、日本人の先生が担当されており、短期留学では小国高校の生徒も同じ授業に参加しているそうです。

その後、校長先生などの教職員に対し、小国高校の佐藤志野教諭から「小国高校は全校生徒81人の小規模校であるが、その分生徒一人ひとりが主役となり様々な分野で役割を果たしている。保小中高一貫教育を行っており、幼い頃



VOICE①

コロラドは環境への関心が高い州だと聞いていましたがその通り。紙ストローや料理油のリサイクルが日常になっている社会でした。薪やペレットのストーブも人気のようで共通の話題に盛り上がりました。今後の継続的な交流の種蒔きとなった気がします。これからも多くの町民が関わっている活動につながれば良いと思います。

高橋安以子さん（岩井沢）

最後に町長から、毎年の留学受入の感謝を伝えるとともに、「留学した生徒はとても満足して帰ってきて、報告会で英語を使っていきたいと発表している。これからの若い人たちには、英語を使って国際交流やビジネスの可能性を広げてほしいと考えている。」

昨年7月に本町に訪れ、小国柔道会との交流などを行ったD B T柔道会を訪問し、小国柔道会を代表して加藤義弘さん（松岡）と久保田治さん（小国町）の2人が、D B T柔道会の黒帯（初段）取得前のメンバーに投の形の礼法と手技（浮落、背負投、肩車）を指導したほか、参加者の前

③D B T柔道会

とあいさつしました。



▲イースト高校の日本語クラス生徒と教職員と

で15の投の形、16の柔の形を披露しました。

D B T柔道会からは、「今回短い時間だったのでもっと教えてほしい。乱取りや試合もしてみたい。双方の友好関係が続き、今後もいい交流が出来たら素晴らしいと思う。」という声が寄せられました。

柔道での交流の後には、訪問団とD B T柔道会、日系人諸協力会、デンバー総領事館職員、デンバー市職員、C D職員などを交えた交流会が行われ、仁科町長からD B T柔道会との今後の関係を大切に発展させていきたい旨のあいさつを行い、本町特産品とそれを紹介する英文カードなどを贈りました。

久保田治さんは、帰国後「昨年7月、D B T柔道会の小国町訪問から始まった柔道を通じての交流。今回、柔道の形の指導と模範披露を行ってきました。お土産として、友好の盾、寄せ書き、スポンジの子

どもたちの写真を持ってきた、当日は石塚さんに通訳をしていただいたり、他のメンバーに折り紙で交流していた



▲小国柔道会の加藤さんから記念品を贈呈した



VOICE②

私は小国の商品をPRしたいと考え事業に臨みました。特に地酒・桜川の紹介カードを作成し、現地で約100枚配りました。

今回の経験を活かし、コロラドと小国町の間で「人と物」の交流が継続していけるよう貢献したいです。

石塚秋恵さん（岩井沢）

だいたり、数多くのかたがたのお力添えにより、D B Tの皆さんの笑顔をたくさん見ることが出来、更に交流が深まりました。今後も交流が継続するよう期待しています。」と話してくださいました。

④ ゴールデン市

ゴールデン市は、デンバー市から西に約24キロにある都市で、本町経済の中心を担うクアーズテック・グループの世界本社があり、本町同様にクアーズテックが地域をけん引しています。ここでは、将来的なパートナーシップの締結などに向けて市長や地域経済発展課長、議員との意見交換や本町の紹介、ゴールデン市内の視察などを行いました。

マジョレー・スローン市長からは「小国は美しい場所だと聞いているが、ゴールデンも美しい丘陵地。小国町は地形や自然豊富な点が似てい

る。経済の中心はクアーズテックと鉦山大学で、クアーズテックは地域経済に多大な貢献をしてきた。ぜひ、これから将来の友好関係を前向きに考えたい。」とあいさつをいただきました。

⑤ クアーズテック本社

クアーズテック・グループ本社では、毎年小国事業所の稲荷神社奉納相撲大会の際にも来町されているジョナサン・クアーズ共同CEO（最高経営責任者）と町長がそれぞれあいさつを交わしたほか、クアーズテック(株)小国事業所に勤める齋藤美穂さん（石滝）が、小国事業所の紹介として、自分の仕事の内



▲ゴールデン市長（右から2人目）に表敬訪問

容や社内のイベント、社員同士のつながりなどについてプレゼンテーションを行いました。

ジョナサン・クアーズ共同CEOに小国事業所で働く若者にメッセージを求めたところ、「クアーズテックで働いていることを誇りに思っている。現在、当社はとても忙しく、世界的にも人が足りていないため、会社をいかに魅力的なものにし、人を呼び込めるかに取り組んでいるところである。周りにいい人がいれば、ぜひ誘ってほしい。」



▲ジョナサン・クアーズ共同CEOと親善文書を取り交わした



▲クアーズテック(株)小国事業所を紹介する齋藤美穂さん



VOICE③

今回のコロラド州訪問においては、各所で温かく歓迎していただき、小国町の魅力をPRすることができました。さまざまな意見交換や情報交換もあり、ますますコロラド州を魅力的に感じてきました。貴重な経験をさせていただき、たくさんのかたがたに感謝の気持ちでいっぱいです。

渡部美行さん（栄町）

今回のコロラド州訪問では、これまで関係があった団

ゴールデン市などとの連携に向けて

と話され、また、「クアーズはファミリービジネスを展開してきており、小国はクアーズのファミリーなのだから、これから大切にしていきたい。」と話されました。

その後、クアーズテックと小国町との間で、両者の友好・協力・繁栄を確かなものとしていくため、親善文書を取り交わしました。

現在、国内外を問わず友好都市を持たない本町にとって、コロラド州や、特にクアーズテック・グループ本社があるゴールデン市とのつながりを強固にしていくことで、インバウンドの促進、ビジネス、教育、文化、スポーツなどさまざまな分野での連携・交流の可能性が広がります。

町では、関係機関・団体とともに、コロラド州やゴールデン市との連携に向けて、検討を進めていきます。

体、学校などに訪問し、継続した取り組みを展開することを確認できたほか、各所で本町のPR活動も展開したことにより、今後さまざまな形での交流が期待されます。

山形県内では19市町村が15カ国34自治体との間で姉妹・友好都市を締結しており、このうち山形市や米沢市、河北町、三川町などは、アメリカ合衆国内でも姉妹・友好都市を結んでいます。

ビジネスプランコンテストを開催します!!

～起業・創業のビジネスプラン・アイデア募集中～

町では、町民が主体的に多様なビジネスを創造し、チャレンジしていくことを支援するためビジネスプランコンテストを開催します。優れたプランには、賞金のほか、さまざまな支援を予定しています。積極的なご応募をお待ちしています。

■募集内容

- ①起業・創業部門 ②起業アイデア部門（高校生・大学生のみ）

■賞金等

- ①最優秀賞50万円ほか ②起業アイデア賞5万円ほか

■応募締切

平成30年12月27日(木)午後5時まで

■プレゼンテーションイベント

平成31年2月16日(土)午後1時から

■その他

詳細や募集要領などは下記担当までお問い合わせいただくか、町ホームページをご覧ください。

■問合せ先 産業振興課白い森ブランド戦略室（☎87-0821）へ

届け!! 沿線住民の熱い思い。

新潟山形南部連絡道路の早期完成を!! ～住民大会「長井大会」開かれる～

新潟山形南部連絡道路（新山道）建設促進期成同盟会が、全線の早期完成と財源確保などを広く訴える住民大会「長井大会」が、9月22日、長井市タスポークホテルで行われ、国や県の関係者、沿線住民など約350人が参加しました。今月は、新山道の現状と先月行われた住民大会を振り返ります。

新山道住民大会 「長井大会」

住民大会では、本町を視察いただいた国土交通省の田村央（ひさし）道路経済調査室長から「道路を取り巻く最近の話題」と題して基調講演が行われたほか、長井市、飯豊町、小国町の住民が沿線を代表して新山道の必要性や重要性などについて意見発表を行いました。

基調講演で田村道路経済調査室長からは「小国町の企業活動にとって、新山道が大きな役割を果たすと認識しています。小国道路は、昨年度実

施したアンケートを整理し、それを踏まえて対応方針案を決める段階であり、次回委員会の開催に向けて準備を進めており、できるだけ早く開催したいと思っています。そして小委員会が開催されてルートが決まれば、予算の話になりますので、皆さんの思いを届け、動かし、届くことが大切。思いが届くことで、計画段階評価から事業着手、完成となっていくと思いますので、私も頑張っていきたいと思っています。」という話がありました。

また、意見発表では本町を代表して、クアーズテック㈱小国事業所小国安全衛生・環境担当EHSマネージャーの伊藤弘行さん（栃倉）が、「当事業所の事業経営上、道路が非常に重要な役割を果たしています。小国町は国道113号が唯一の幹線道路で、他に迂回路がなく、物流や車通勤は全て国道113号に頼っています。しかし、山間部を通



▲新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会住民大会長井大会

衆議院議員遠藤利明氏らが 小国道路の現地を視察

9月22日、衆議院議員の遠藤利明氏と国土交通省道路局企画課道路経済調査室長の田村央氏が、本町を訪れ、「小国道路」の3つのルート帯案のうち、2つのルート案で通ることが想定されている赤芝峡付近の状況を視察しました。

和田賢哉山形河川国道事務所長から3つのルート帯案や赤芝峡の狭あいな現場の状況などについて説明を受けていました。



▲意見発表を行う伊藤弘行さん

るため、カーブや急な坂道が多く、豪雨による冠水や土砂崩れ、豪雪や雪崩の発生により度々通行止めとなり、物流が停滞するほか、救急患者の搬送に支障を来すなど、危機管理上非常に重大なリスクがあると捉えています。万が一、そのリスクが顕在化した場合、企業価値向上の機会を失い、周辺地域に少なからずマイナス影響を及ぼす心配があります。製品の品質やコス

トは、自社努力で解決可能ですが、物流の要となる道路整備は一企業では解決できません。沿線住民や利用する企業及び団体と連携を強化し、道路整備に対する運動をさらに高めていくことが重要だと考えております。」と意見発表を行いました。

また、長井市と飯豊町を代表して意見発表をされたかたからは、「太平洋側だけではなく日本海側にも動脈となるこの道路があることが、ここに住む私たちの安心にもつながると思います。新山道の建設は、私たち近隣住民にとって生活にも仕事にも大きな影響を与えるものであり、できるだけ早い開通を期待しています。」「新たな道路ができれば、山形県の西の玄関口として観光人口の更なる増加が期待され、沿線地域の活性化と滞在型観光の拡大に繋がってきます。国道113号を常日頃から利用する沿線住民の一人として、新山道の早期全線開通を心から願っています。」と発表されました。

新山道の早期実現を 目指して

新山道のうち関川村金丸地内から本町市街地までの約12kmの区間の「小国道路」は、平成11年12月に「調査区間」に指定され、平成27年3月から「計画段階評価」に着手し、さまざまな調査が行われてきました。そして、平成29年3月の社会資本整備審議会道路分科会第5回東北・北陸地方合同小委員会において、3つのルート帯案が公表されました。

県内では、東北中央自動車道および日本海東北自動車道の段階的な開通により、縦軸の高速道路網が整いつつある中で、これらを有機的に結ぶ横軸の道路網整備が注目されており、町としては、新山道建設促進期成同盟会や関係機関・団体との連携を図りながら、小国道路の早期の事業着手とともに、新山道全線の早期実現に向けた取り組みを展開していきます。

技を^な絢う

その⑦

人と道具の物語



▲藤田 栄一氏

飯豊山地の深奥部を流れる大又沢には「秋田小屋場」という地名の場所があります。ここは、明治期頃に秋田から来た出稼ぎ猟師（秋田マタギ）が、猟をおこなうため寝泊まりしていたところだと伝承されています。小玉川では、秋田マタギが戦後まで来ており、当地域の狩猟文化に様々な影響を及ぼしました（※）。その一つが、戦後しばらくは周りの山々に掛けられていたオオモノビラ（単にヒラとも

呼ばれる）というクマ捕獲用大型罾であり、小玉川の山衆たちは秋田マタギからその作り方を教わったと言われています。オオモノビラは、石などの重しでクマを圧して捕獲するものです。重しを載せる天井部とクマが横に逃げないようにするための柵、そして仕掛けの部分からなり、その全てが灌木（かんばく）や細木、樹皮、蔓などの植物素材でできています。現在は法律（「鳥獣保護管理法」）によって使用が禁じられていますが、かつては秋が深まる頃、木の実を食べ、脂を蓄えたクマを獲るために山中の獣道に掛けられたのです。小玉川（長者原）の藤田栄一さん（昭和6年生まれ）は仲間とともにオオモノビラでクマを獲ったことのある、

現在では数少ない経験者の一人です。

「俺が初めてヒラあげた（掛けた）のは、25（歳）頃だな。そのときは後輩2人と3人で。あの頃は、みんな組つくってやってたんだ、猟（春グマ猟）とは別にヒラの組な。

始めるのは10月になってからだ。昔はどうしても稲刈りが10月頭まではかかったから。山奥の方からだんだん掛けていくんだな。それで、山さ1回雪降れば、今度はまた奥の方から外しあって。手前は最後まで残してな。冬は重しをとって、たたまねえと（雪で）つぶれてしまうんだ。それでも、一度にどさっと降られて、外しに行かないでしまったこともあるぞで。



▲オオモノビラ

地元のかたがたのご協力のもと学術目的（技術の記録）で平成30年10月17日に小玉川地区内で復元された。

オラらの組は（一シーズン）7つ、8つは掛けたな。だいたい3人一組で掛けるんだ。かなり奥まで行った。梶川尾根や梅花皮（沢）。大又（沢）だばセンボンミネ辺りまでな。檜山（沢）は掛けなかった。やつぱり山だから、地形的にそうなかなかねえんだ、いい場所は。材料取りの都合もあるし。どうしても場所は限定されるんだな。だいたいのは前の年掛けたのと同じ場所にまた掛けた。多いとき



▲罾の右側から見た写真
(矢印はクマの進入路)

罾の仕組み

クマがケツナに引っ掛かると、カナメ部分の①が右に引っ張られる。すると、②の横棒を留めている縦棒が外れ、重しの重みでパチが③のように跳ね上がり、天井が落下する。



で5頭ぐらいは獲ったんでねえか。ヒラは肉くうためだ。毛皮はまだシーズンが早くて、良くねえんだ。だども脂はすぐかつたぜ。体、丸々しててよ。」

総重量300キロ以上とも言われる重しに耐えうる、頑丈な天井や柵(マエガキ)を作るため、材木の結束には「ネジ掛け」

と呼ばれる方法が用いられました。これは、柔らかい細木(ネジ柴)をねじりながら巻きつけ、締めていく技術であり、ヒラ掛け(オオモノビラを作ること)以外でも山で柴木や丸太を束ねるときや、何本もの丸太を結んで橋を架けるときなど、かつては日常生活のなかで「普通」

に用いられていたそうです。ネジ柴になる木は、ねじってもなかなか切れない、マンサクやツバキ、サナグリ(標準和名リョウブ)など数種に限られます。

この他にも、オオモノビラの構造をみると、植物がそれぞれ持つ特性を上手く生かして作られていたことが分かります。例えば、オオモノビラでは天井に付けた輪(タガと呼ばれる)の中にパチ

と呼ばれる木を通し、てこの原理で重い天井を吊り上げます。そのとき荷重がかかるタガはヤマブドウの蔓を何重にも編んで作られました。ブドウ蔓は、かつて橋を吊るのに用いられたほど強靱(きょうじん)な素材です。また、クマが通ると引っ張られ、仕掛け(カナメ)を作動させるケツナには、オツカワ(ウリハダカエデの樹皮)で編んだ紐が使われました。それは細くても丈夫なため、切れにくく、クマにも気付かれにくいのです。

ヒラ掛けにみられる植物についての深い知識は、狩猟採集活動のみならず、道具作りや土木作業など、先人たちが日常的に野山の植物を利用するなかで培われてきたものです。逆に言えば、それら自然に関する豊かな知識と技術基盤が、地元の人々をはじめ地域の人人々に備わっていたからこそオオモノビラという外部技術を取り込み、自分たちのものにしていくことができたのではないのでしょうか。

自然との関わりのなかで鍛えられてきた地域の経験知。それは、単なる過去の産物ではなく、山とともにある暮らしのなかで新たな「豊かさ」を生み出しうる土壌なのです。



▲ブドウ蔓のタガ

ネジ掛け



ネジ柴の枝先の方を折り曲げ(上左図)、ねじりながら(上右図①)そこに2、3回内側へ巻きつけて締めていく(上右②図)

※田口洋美、2002年、「小国マタギの過去と現在」『小国マタギ 共生の民俗知』(佐藤宏之編 農山漁村文化協会、2008)249頁。



9月23日
旧白沼小中

習うより慣れること ～白沼地区スポーツ防災フェスタ～

白沼地区スポーツ防災フェスタが、9月23日、旧白沼小中学校前広場で行われ、地区住民など約100人が参加しました。これは、地区運動会と防災訓練を融合させて開催しているもので、今年で2回目。

この日は、訓練放送を合図に各家から旧白沼小中学校に住民が避難してきたほか、防災講話、炊き出し訓練、大声コンテスト、消火バケツリレーなどが行われ、参加したかたがたは、慣れない訓練に、積極的に参加しながら、防災意識を高めていました。



10月13日
クアーズテック㈱

企業の垣根を越えた交流 ～小国がんばれソフトボール大会～



第7回小国がんばれソフトボール大会（横山利幸実行委員長）が、10月13日、クアーズテックグラウンドで開催され町内企業6社から7チーム約120人参加しました。大会では、7チームで変則リーグ戦が行われ、選手は同僚からの声援を受けながら笑いあり、真剣勝負ありの白熱した試合を展開していました。

結果は、日本重化学工業チームの4連覇を阻んでクアーズテックチームが見事に優勝しました。

10月14日
総合センター

武田双雲氏が講演 ～白い森芸術文化講演会～

書道家の武田双雲氏を招いた白い森芸術文化講演会が、10月14日、おぐに開発総合センターで開催され、約120人のかたが来場しました。

武田氏は「文字の力 言葉の力 生きる力」と題して講演し、書道で姿勢などの所作が大切にされているのは、心の状況がそうしたところに現れ、文字にも表れてくること。日々の生活も所作が影響を与えるため、感謝の心を持ちながら、常にポジティブな声や態度で生活してほしいと話されました。

参加者は、武田氏のユーモアを交えた講演に時折笑いながらも、真剣に聴き入っていました。



10月21日
横根スキー場

ゲレンデを花いっぱい ～白い森おぐにスイセンプロジェクト～

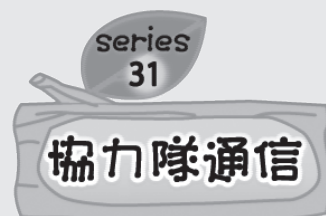
白い森おぐにスイセンプロジェクトの植栽イベントが、10月21日、横根スキー場で行われ、町内外から家族連れや友人同士のほかおぐに野球スポーツ少年団の団員など約200人が参加しました。

これは、本町の玄関口である横根スキー場にスイセンを植え、たくさんの花で小国町に来るかたをお迎えしようと実行委員会が行ったものです。ゲレンデ上部には白い森口ゴマークをかたどってスイセンを植栽しました。

当日は天候に恵まれ、町民の皆さんから寄付していただいた5千個の球根と実行委員会で用意した球根計約1万個を、参加者同士わきあいあいと話しながら1つ1つ丁寧に植え付けていました。イベント終了後には芋煮が振る舞われ、参加者は来春の開花を今から楽しみにしていました。



「3年目の秋」



地域おこし協力隊

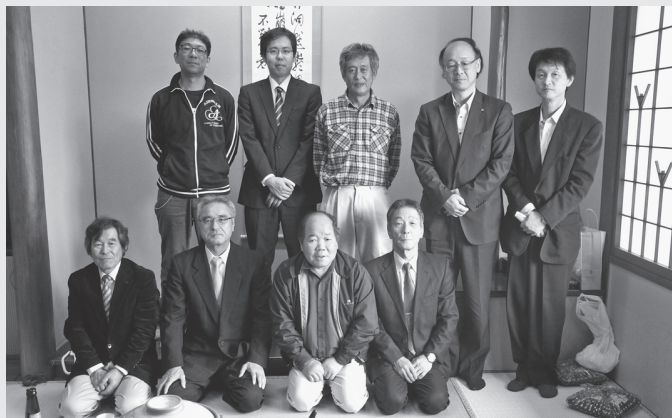
のぐち たつひこ
野口 達光

例年のごとくヘンクサ虫も登場し、小国町に来て3年目の秋を迎えました。今年は念願だった栗の渋皮煮を作りました。たぐさんの量は作れませんでした。だが、夜な夜な無心になつて鬼皮剥きに励みました。

さて、10月21日に北部地区の恒例行事となりました「第26回北部地区ふれあい・いきいき世代交流会」が開催されました。20代・80代のおよそ50人が参加し、年に1回大好きなお酒を片手に、みんなで盛り上がる姿はこちらまで楽しくなります。今年も行けなかったというかたも、昔話から最新の畑事情まで、

色々な話題が飛び交う楽しい機会です。来年は是非ご参加ください。

そして、こちらも恒例となりますが、10月27日には古田歌舞伎の定期公演が開催されました。今年はなんとお姫様役をやらせていただきました。練習から衣装合わせ、本番まで全てにおいて悪戦苦闘をしましたが、私なりのお姫様を全力で演じさせていただきました。



▲世代交流会役員での集合写真

齋藤恒助さんが総務大臣表彰を受賞

小国町行政相談委員の齋藤恒助さん（緑町）が、総務大臣表彰を受賞されました。

齋藤さんは、平成17年4月からこれまで13年以上の長きにわたり行政相談委員として、町民の行政に対する苦情や各種問題の解決に尽力されました。

また、平成28年度からは西置賜地区行政相談委員協議会の会長を務められるなど、こ



れまでの献身的な活動が高く評価されたものです。

和田修一さんが郷土を護る消防団員表彰を受賞

小国町消防団第6分団長の和田修一さん（焼山）が、郷土を護る消防団員表彰を受賞されました。

和田さんは、昭和61年6月から消防団員として多くの災害現場で活動されました。現在は、分団長として団員の育成を図るとともに、地域住民の火災予防意識の高揚と啓発



に取り組まれています。

平成30年第7回 小国町議会臨時会

平成30年第7回小国町議会臨時会が、10月12日に開催されました。一般会計補正予算および工事請負契約の締結について審議され、原案のとおり可決されました。

一般会計に

2407万円を追加

一般会計では、大雨により被災した町道の災害復旧経費のほか、役場庁舎の維持修繕費、高温渇水による農業用水確保等に要した経費の支援費等として2407万円を追加し、補正後の同会計予算総額は、62億965万3千円となりました。

■役場庁舎西面の水切りの一部が劣化により損壊し、さらなる劣化進行と部材落下の恐れがあるため、修繕に要する経費を措置しました。

■今年の高温渇水により、農業者が取り組んだ農業用水確保のための資材購入や揚水機稼働などの経費が例年以上にかさんだほか、8月

の豪雨により北部地区内の農業用水路の法面崩壊などが発生しました。これらの小規模災害・高温渇水被害対策について県で緊急支援を行う制度を活用し、農家の負担軽減と復旧活動を支援することとし、これに要する経費を措置しました。

■災害復旧費では、5月の集中豪雨で発生した町道樽口足水中里線および町道小坂町朝篠線の法面崩壊について、現年度事業として国庫負担金の認定を受けたことから円滑に復旧工事に取り組むこととし、これに要する経費を措置しました。

温水プール解体工事

請負契約の締結について

強風被害により屋根が著しく損壊している温水プールの解体工事について、10月5日に町内4業者による指名競争入札を行った結果、株式会社高橋工務店に落札決定し、9288万円で工事請負契約を締結しました。なお、工期は平成31年3月29日までとなっています。

奨学金の貸与を受けている若者の
本町回帰を支援します (市町村連携枠)

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため、山形県と連携して、奨学金の貸与を受けている大学生等に対し、奨学金の返還支援事業を実施しています。

- 募集定員 4人
- 対象者 次の項目をすべて満たすかた
 - ①県内の高等学校等を卒業したかた
 - ②国内の大学等に在学中のかた
 - ③日本学生支援機構の第一種または第二種奨学金の貸与を受けているかた
- 助成内容 大学等を卒業後、6カ月以内に町内に居住して県内企業に就業し、かつ3年以上居住、就業を続けた場合に、最大で124万8千円の助成が受けられます。
- ※なお、その他にも諸条件がありますので、応募の際にご確認ください。
- 応募期間 平成30年11月30日(金)まで
- 応募・問合せ 総務企画課政策企画担当 (☎62-2264) へ

秋の火災予防運動の実施について

平成30年度全国統一防火標語
「忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認」

秋季火災予防運動を11月9日(金)～15日(木)まで実施します。運動期間中は、午前7時と午後7時に防災ラジオから注意喚起が放送されます。また、11月11日(日)午前9時から12時まで町消防団の消防自動車が火災予防パレードで町内を巡回します。

■問合せ 町民税務課 (☎62-2260) または消防署小国分署 (☎62-2154) へ

白い森おぐに教育フォーラム2018

保小中高一貫教育のスタートを迎えるにあたり、一貫教育の意義や小国町合同学校運営協議会と白い森地域学校協働本部による地域一体となった教育の必要性等を理解していただき、保小中高一貫教育を推進するため、白い森おぐに教育フォーラムを開催します。

- 日時 11月23日(金)13:00～16:00
受付12:30～
- 場所 おぐに開発総合センター
- 対象 どなたでも
- 内容
 - ①開会行事
 - ②白い森おぐにの教育全体構想の説明
 - ③幼児・児童生徒による実践発表
 - ④講演
青森中央学院大学教授 高橋 興 氏
 - ⑤閉会行事
- 問合先 教育振興課教育振興室 (☎62-2141) へ

除雪機械を貸し出します

大型機械での除雪が困難な歩道や生活道路等を対象に、ハンドガイド式小型除雪機械(35馬力)を貸し出します。

- 対象者 ①町に居住する2世帯以上で構成する任意団体②町長が特に認める個人または法人
- 貸出台数 5台
- 募集期間 11月1日(木)～16日(金)
- 貸出期間 11月下旬～平成31年3月31日(日)
- 申込・問合せ 地域整備課建設管理担当 (☎62-2431) へ

入札結果情報 (平成30年9月21日～平成30年10月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H30.10.5	平成30年度町道長者原内川線改良舗装工事	小玉川	H30.12.14	11,527,000	玉川開発(株)	11,000,000
H30.10.5	平成30年度温水プール解体工事	小国小坂町	H31.3.29	87,630,000	(株)高橋工務店	86,000,000
H30.10.5	平成30年度道の駅農産物・物産特産品直売所整備工事	小国小坂町	H31.3.29	43,960,000	安部工業(株)	43,500,000
H30.10.11	平成29年度繰越明許費小国3地区農地耕作条件改善事業町原排水路整備工事	町原	H30.11.21	1,530,000	斎藤建設(株)	1,450,000
H30.10.15	平成30年度町営住宅幸町団地(45-1-5・6)解体工事	幸町	H30.11.30	3,394,000	(株)横川建設	3,300,000
H30.10.16	平成29年度繰越明許費小国3地区農地耕作条件改善事業五味沢排水路整備工事	五味沢	H30.11.27	4,775,000	安部工業(株)	4,700,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

募集

町営住宅入居者募集

- ① 町営住宅小坂町団地
3DK 2戸(3・4階)
■家賃 所得と家族構成による
■その他 所得制限あり
- ② 町営住宅あけぼの団地
3DK 2戸(2・3階)
■家賃 所得と家族構成による
■その他 所得制限あり
- ③ 町営住宅あけぼの高齢者団地
1LDK 1戸(1階)
■家賃 所得と家族構成による
■対象 世帯所得が21万4千円以下で住宅に困っているかた
- ▽60歳以上のかたで自立した生活を送ることができ、同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること
- ④ 小坂町勤労者住宅
2DK 1戸(3階)
■家賃 38000円
■対象 町内事業所にお勤めのかた
- ①④共通
◎敷金 家賃の3カ月分

ご案内

- ◎募集期限 11月12日(月)
- ◎入居時期 11月下旬以降
- ◎問合せ先 地域整備課建設管理室(☎62・2431)へ

白い森杯柔道大会2018

- 日時 11月24日(土)9時～
- 場所 小国町民総合体育館
- 内容 新潟山形両県から90チーム以上参加予定。男子I部・II部、女子の部の団体戦と両県参加選手の中からの選抜選手による県選抜対抗戦が行われます。25日(日)には合同練習会が開催されます。
- 問合せ先 小国町柔道会佐々木(☎090・7279・0131)へ

食育ドキュメンタリー映画「いただきます」自主上映会

- 日時 11月24日(土)13時30分～15時30分

お知らせ

- 場所 おぐに開発総合センター
- 入場料 大人1000円(高校生以下無料)
- その他 上映終了後みそ玉とおにぎりをプレゼント
- 申込・問合せ先 実行委員会山口(☎65・2432)へ
- 排水設備工事責任技術者登録更新のお知らせ

山形県下水道協会に登録している責任技術者で、登録の有効期限が平成31年3月31日までのかたは、更新手続きが必要です。

- 該当者 登録有効期限が平成31年3月31日までのかた
- 必要手続き ①登録更新の申請 ②更新講習会の受講
- 更新申請期間 11月1日(木)～11月30日(金)
- 申請・問合せ先 地域整備課水道業務担当(☎62・2431)へ

消費税の軽減税率制度に関する説明会

事業者のかたを対象に消費税の軽減税率制度に関する説明会を開催します。

- 日時 11月14日(水)15時30分～16時30分
- 場所 おぐに開発総合センター1集会室
- 問合せ先 長井税務署調査部門(☎84・1934・1944)へ

平成31年分収入保険の加入申請がまもなく締め切られます

現代の農業経営は、自然災害だけでなく多くのリスクにさらされています。収入保険は、すべての農作物の販売収入を補償する今までにない新しい保険です。ご加入を検討されているかたは、早めの手続きをお願いします。

- 申請期限 11月30日(金)
- 問合せ先 山形県農業共済組合置賜支所収入保険推進課(☎0238・27・7017)へ

11月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 11月30日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成30年7月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 11月30日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成29年11月生まれ

■2歳児歯科健診

- ・期 日 11月21日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成28年3月、4月、5月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■11月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9：30～11：30・13：00～15：30 (水・金は午後のみ)	不要
	30日(金)はお休みになります。		

■対象者 なかよし広場・子育て講座 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

11月3日(土)	長井 村上歯科クリニック	0238-83-3650
11月4日(日)	南陽 すまいる歯科	0238-43-8143
11月11日(日)	米沢 万世歯科クリニック	0238-28-0820
11月18日(日)	米沢 中條歯科医院	0238-24-2085
11月23日(金)	高畠 わたなベデンタルクリニック	0238-56-3888
11月25日(日)	米沢 高橋歯科医院	0238-23-8888

求 人 情 報

右の表は10月19日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2018.11

11月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●11月26日(月) 水道料

●11月30日(金)

国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(株)TMM山形サテライト	(派) マシンオペレーター	4人	8:20~16:50他
おぐに白い森(株)	応接員	2人	8:00~17:00他
クアーズテックマシナリ(株)	技能職	2人	8:20~17:10
(株)トラスト・テック仙台オフィス	(派) 金属加工業務他1職種	計6人	8:20~16:50他
クアーズテック(株)小国事業所	製造工	5人	8:20~16:50他
社会福祉法人 小国福祉会	介護員、介護員【年度更新】	計2人	6:30~15:30他
長谷川工業(株)	マシニングオペレータ	2人	8:30~17:00
(株)横川建設	事務員、現場管理(1・2級土木施工管理技士)、作業員他4職種	計9人	8:00~17:00
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
斎藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
遠藤建設(株)	一般作業員、重機オペレーター、土木施工管理技士	計4人	8:00~17:00
荒川興業(株)	製造加工【モーター用ブラシの加工】 【アークカーボン加工】、経理事務	計10人	8:20~17:10他
医療法人社団 緑愛会 満天の家	介護職(交替制)	1人	6:45~15:45他
小国町森林組合	伐採・集材・造林・保育作業員、 運転業務(トラック運転手)	計3人	7:30~17:00
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	2人	8:30~17:30
(株)山芳工務店	電気設備工	3人	9:00~18:00
山和建設(株)	一級または二級土木施工管理技士 および建築施工管理技士、事務員	計7人	8:00~17:00他
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉 制度推進スタッフ	2人	9:15~16:15他
UTエイム(株)新潟キャリアセンター	(派) 半導体用治具の製造作業	7人	8:20~16:50他
ひさご電材(株)小国工場	生産管理業務	1人	8:20~17:10
小国グリーンエナジー合同会社	配達・ストーブメンテナンス	1人	8:00~17:00
太平ビルサービス(株)置賜営業所	(請) 日常清掃業務	1人	9:00~11:00
ヤマト運輸(株)長井支店	集配ドライバー	2人	8:30~11:30他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。町ホームページに求人情報を掲載しています。

11月の あいベイベント Yui キッズフットサル U-9 大会



- 日 時 11月18日(日) 8:00受付
- 対 象 者 小学3年生以下
- 持 ち 物 室内シューズ、飲み物など
- 参 加 費 1チーム1,000円
- 申込期限 11月13日(火)

新潟市内神社巡りウォーキング

- 日 時 11月11日(日) 8時出発
- 集 合 町民総合体育館
- 内 容 新潟市内パワースポット白山神社・新潟県護国神社を歩こう（歩いて移動）
- その他 小雨決行

■申込・問合せ先
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

公式ワナゲ大会のご案内

公式ワナゲの個人戦です。日頃鍛えた腕を試してみませんか。初心者、老人クラブ未加入者、大歓迎！

- 日 時 11月13日(火) 9:30～11:45
受付 9:00～
- 場 所 小国町民総合体育館高齢者体育室
- 対 象 おおむね60歳以上のかた
- 内 容 3ゲームの合計点で競います。
- 参加料 100円（保険料等）
- その他 内履きが必要です。飛び賞などの賞品を用意しています。
- 申込期限 11月6日(火)
- 申込・問合せ先
小国町老人クラブ連合会（小国町社会福祉協議会）
(☎62-2825) へ

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

- ◇その話は今日はやめておきましょう 井上 荒野
- ◇定と茂吉の間 水野 忠興
- ◇里山奇談 c o c o 他
- ◇凍てつく海のむこうに ルータ・セペティス
- ◇繕う暮らし ミスミノリコ

相 談

▽年金相談

- 日 時 11月21日(水)
10:30～14:00
- 場 所 役場
- 対応者 米沢年金事務所職員
- その他 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽特設人権相談

- 日 時 12月7日(金)
10:00～15:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽行政相談

- 日 時 12月1日(土)
10:00～12:00
- 場 所 役場
- 対応者 行政相談員 齋藤恒助 氏
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

▽弁護士無料法律相談

- 日 時 12月7日(金)
10:00～15:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町顧問弁護士
- その他 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

町内の空間放射線量

～数値も人体に対して影響のない水準です～

■10月9日(火)の空間放射線量

測定場所	測定値 (μSv/h)
小国小学校 グラウンド	0.04

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合せ先 町民税務課町民生活担当へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●行政管理室・管財危機管理室 ☎62-2112 ●企画財政室 ☎62-2264 ●会計室 ☎62-2406
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821 ●商工観光室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(9 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

兵 庫 館	田部井	美 稀	(貴友 浩美)
東 原	渡 部	愛 理	(哲し 也か)
東 原	伊 藤	拓 翔	(拓愛 磨恵)
小国小坂町	田 村	瑠 花	(祐亜 介実)

結婚おめでとうございます。

(小 股 安 部 槇 悟
長 井 市 鈴 木 杏 奈)

おくやみ申し上げます。

兵 庫 館	矢 部	安太郎	(82)
小 玉 川	本 間	百合子	(92)
緑 町	齋 藤	静 子	(88)
北	小 山	幸 雄	(70)
増 岡	小 関	きん子	(70)
岩 井 沢	渡 部	み わ	(83)
北	片 倉	良 三	(93)
北	桑 島	タマヨ	(93)
小国小坂町	村 田	鐵 己	(77)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成30年9月30日現在)

人口 男・・・3,782人(－12)
 女・・・3,827人(－5)
 計・・・7,609人(－17)
 世帯数 3,074世帯(－9)

編集後記

屋と朝晩の気温差が増し、周囲の山々が紅葉の盛りとなってきました。11月は4日に「おぐに再発見自然の恵み大感謝祭」と「おぐに鍋まつり」、11日には本町出身の山遊亭金太郎師匠の嘶家40周年記念の寄席が開催されます。この他にもさまざまなイベントが開催されますが、まさに小国の食欲・芸術文化の秋の訪れです。秋のおぐにを、お腹いっぱい楽しみたいものです。

(斎藤)

仕事 vol.7 図鑑

大幸TEC株式会社

代表者 事業所長 原 政道
 従業員数 14人
 所在地 小国町大字田沢頭字平林638-7
 事業概要 木クレオソートおよび木酢液の製造

1992年に本町で操業を始めた大幸TEC(株)は、ラッパのマークで有名な正露丸を製造・販売する大幸薬品株式会社(大阪府)の国内唯一の子会社です。大幸TEC(株)では、正露丸やセイロガン糖衣A、正露丸クイックCの主成分となる木クレオソートのほか、木クレオソートを生成する段階で得られる木酢液を製造しています。医薬品の製造許可を得て木クレオソートを製造している例は数少なく、同社はその先駆けです。親会社の大幸薬品(株)では正露丸やセイロガン糖衣Aを国内だけでなく、アジアや北米でも販売をしており、それらの製品には、大幸TEC(株)で造られた木クレオソートが含まれています。

同社に平成13年に入社し、現在、製造課職長を務める新澤俊さん(伊佐領)は、「私は、当社製品の木クレオソートなどの年間生産計画の立案や生産状況の進捗管理などを行っています。木クレオソートの原料となる木タールは天然物のため、抽出できる量が決まっています。また、木タールから原料となる木クレオソートができるまで8工程あるため、状況に応じて生産現場のかたがたと話をしながら生産量の調整もしています。みんなで計画通りに生産できた時はとても達成感がありますし、何より安全作業で1日が終えられた時がうれしいですね。また、ドラッグストアなどで正露丸を手にする人を見ると嬉しくなりますね。」と話してくださいました。

大幸TEC(株)では、自立・共生・創造を基本理念としながら、世界中のかたがたに健康という大きな幸せを提供するために、医薬品原料の生産拠点としてたゆまぬ努力を続けています。



▲工程分析結果の確認をする新澤さん

無言の語り部たちⅡ

その⑦

「不動尊」(長沢)

越中里と長沢の間、県道五味沢小国線の道脇すぐのところに長沢不動尊があります。このお宮のすぐそばに小滝のある小沢が流れています。そ

の滝つぼの中に水しぶきを浴びながら「不動尊」像が鎮座しています。

『小国の信仰』によると、「不動尊の創立の事情等はない。尊像は昭和初期のも



ので、小国町岩井沢の石工、俗に神納石屋の作である。(中略) 尊像は縦97センチ、横45センチの長方形の岩板に半陽刻の石像である。像高76センチ、髪は弁髪、左右に垂らし、恐ろしい面相で、右手には稍長目(しようにうもく)の剣、左手には丈夫な羅索(けんさく)をもち、猛火を光背にしている。」とあります。

長沢サロンにお集まりのかたがたは、「この不動尊は昔から目の神様だ



▲長沢の不動尊像

と言われている、昔は季節の変わり目などで目が霞んだりするときにこの水で目を浸したりしたものだ。不動さまが後ろに火を背負ってるから、火の神様でもあるんだ。今でも、毎年10月28日にお祭りをして、当日は、早朝にお宮に集まって、周りの草刈りや清掃をして、そして、法印様に祈とうをあげてもらってるんだ。その後の直会は、今は公民館でやるけど、公民館ができる前は、各家々の回り番でやってたんだ。」と話してくださいました。

地域に伝わる言い伝えをしつかり引き継ぎ、また、現在も毎年祭りを行いながら不動尊を地域の宝として守り続けている長沢地区。このような敬けんな信仰心によるためか、長沢地区では150年以上無火災であるそうです。昭和41年3月7日に当時の安孫子藤吉山形県知事から「100年無火災」の表彰状も贈られています。

このような暮らしに深く根差した信仰が集落の安寧(あんねい)に結びついているのです。